


審査結果報告書

平成 30 年 2 月 2 日

主 査 氏 名 村 雲 芳 樹 

副 査 氏 名 猶 木 克 彦 

副 査 氏 名 佐 藤 雄 一 

副 査 氏 名 高 桐 翔 士 

1. 申請者氏名 : DM15018 内藤 雅仁

2. 論文テーマ :

Microenvironmental changes in the progression from adenocarcinoma in situ to minimally invasive adenocarcinoma and invasive lepidic predominant adenocarcinoma of the lung

(置換型肺腺癌における上皮内腺癌から微少浸潤癌、浸潤型置換型肺腺癌への進展過程における微小環境の変化)

3. 論文審査結果 :

本研究は、置換型肺腺癌の進展過程における新 WHO 分類、AIS、MIA、LPA-S、LPA-L における予後解析と、それぞれの過程における浸潤マーカー蛋白の発現と微小環境因子について、免疫組織科学的に解析したものである。その結果、進展の初期段階で浸潤マーカー蛋白の発現が上昇し、その後、TAM、CAF や血管増生などの微小環境因子の増加が確認された。以上の結果から、置換型肺腺癌の進展について、新たなメカニズムを提唱した。審査会では以下の内容について検討した。

1. 対象患者の選択に偏りはなかったか。
2. 微小環境因子の中で最も影響する因子について。
3. 免疫染色結果の評価方法について。
4. 検討した項目同士の関係については検討したのか。
5. 今回の結果を臨床に応用可能か。
6. 今後どのような方向に研究を進展させていくか。

今回の研究内容は、新分類に対応した置換型肺腺癌の進展について、新たなメカニズムを提唱し、今後の肺癌研究への大きなインパクトを与える研究と考えられる。審査会での討論の受け答えも適切であり、博士の学位に値する研究であるとの結論に至った。